

平成 31 年度事業報告書

自 平成 31 年（2019 年）4 月 1 日
至 令和 2 年（2020 年）3 月 31 日

公益財団法人 都民劇場

I. 当法人の現況に関する事項

1. 法人の概況

〈1〉 設立年月日

昭和30年（1955年）4月15日

〈2〉 定款に定める目的

この法人は、文化及び芸術の振興、古典演劇の保護、現代演劇の育成、児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業を行い、国内外の芸術芸能の発展向上に寄与することを目的とする。

〈3〉 定款に定める事業内容

- ①国内外の優秀な芸術芸能の鑑賞会の実施
- ②国内外の優秀な芸術芸能公演の実施
- ③児童又は青少年を対象とする芸術芸能公演の実施
- ④国内外の演劇・音楽等芸術についての調査並びに情報、資料の収集提供と研究会の実施
- ⑤定期刊行物の発行
- ⑥その他前号に定める事業に関連する事業

〈4〉 所管官庁に関する事項

東京都

〈5〉 会員の状況

種類	当期末	前期末比増減
定期鑑賞会会員	13,495人	1,006人減

〈6〉 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区銀座五丁目1番7号数寄屋橋ビル内

〈7〉役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理 事 (理事長)	糟谷 治男	常 勤	前(公財)都民劇場事務局長
理 事 (専務理事)	千田 純二	常 勤	(公財)都民劇場事務局長
理 事	佐原 正秀	常 勤	元(財)都民劇場事務局長
〃	植木 浩	非常勤	(一社)現代舞踊協会会長、 元文化庁長官
〃	宇津木 修	非常勤	公認会計士
〃	高野 律雄	非常勤	東京都市長会推薦 府中市長
〃	浜 佳葉子	非常勤	東京都生活文化局長
〃	水落 潔	非常勤	桜美林大学名誉教授、 毎日新聞名誉編集委員、演劇評論家
〃	矢野 誠一	非常勤	演劇・演藝評論家、 (公財)早川清文学振興財団理事
〃	山本 泰人	非常勤	東京都中央区長
〃	山分 榮	非常勤	弁護士
〃	吉住 健一	非常勤	東京都特別区長会推薦 新宿区長
監 事	鎌田 高明	非常勤	公認会計士
〃	島田 耕一	非常勤	弁護士
評議員	浅里 公三	非常勤	音楽評論家
〃	西崎 清久	非常勤	(公財)日本オペラ振興会顧問 福山大学名誉教授
〃	野口 敦弘	非常勤	能楽師
〃	丸山 徹	非常勤	慶應義塾大学名誉教授
〃	諸石 幸生	非常勤	音楽評論家
〃	横溝 幸子	非常勤	演劇評論家

Ⅱ. 事業の状況

1. 事業の実施状況

(1) 文化・芸術振興事業

(1) 定期鑑賞会事業の開催

- ① 演劇サークルは都内の主要劇場（帝国劇場、新橋演舞場、明治座、日生劇場、国立劇場、シアタークリエ、東急シアターオーブ）の 65 公演の中から、各回毎に指定された公演の内、年に 10 公演を観劇した。
- ② 歌舞伎サークルは歌舞伎座の 12 公演の中から、各回毎に指定された公演の内、年に 6 公演を観劇した。
- ③ 音楽サークルは東京文化会館大ホールにて、各回毎に指定された演奏会を、年に 8 公演を鑑賞した。
- ④ 新劇サークルは新国立劇場、東急シアターオーブ、赤坂ACTシアター、紀伊國屋サザンシアター等 47 公演の中から、各回毎に指定された公演の内、年に 10 公演を観劇した。

(2) 都民劇場古典芸能鑑賞会の開催

都民劇場古典芸能鑑賞会第 107 回

「都民劇場能」

狂言「文荷」（和泉流）シテ＝野村万作

能「松風／見留」（観世流）シテ＝野村四郎 ワキ＝野口能弘

大鼓＝亀井広忠 小鼓＝曾和正博 笛＝一噌庸二

日時＝令和元年（2019 年）10 月 24 日（木）午後 6 時開演 会場＝宝生能楽堂

入場料＝7,500 円～4,000 円 入場者数＝349 人

(3) とみん特選小劇場の開催

① 第 58 回「神田松之丞 独演会」

〈昼の部〉

神田松麻呂 寛永宮本武蔵伝「偽岸柳」

神田松之丞 「鮫講釈」 赤穂義士外伝「忠僕元助」

徳川天一坊「名君と名奉行」 「万両婿」

〈夜の部〉

神田久之介 「鉢の木」

神田松之丞 天保水滸伝ダイジェスト

「相撲の啖呵」 「鹿島の棒祭り」 「笹川の花会」
「平手の最期」 「三浦屋孫次郎の義侠」

日時＝平成 31 年（2019 年）4 月 2 日（火）

昼の部＝午後 2 時開演 夜の部＝午後 7 時開演

会場＝紀伊國屋ホール

入場料＝3,000 円 入場者数＝昼の部 404 人 夜の部＝406 人

②第 59 回「神田松之丞 独演会」

神田久之助 「虚無僧下り」

神田松之丞 「鼓ヶ滝」 「名月若松城」

吉原百人斬り「お紺殺し」

日時＝令和元年（2019 年）9 月 10 日（火）午後 1 時開演

会場＝紀伊國屋ホール

入場料＝3,000 円 入場者数＝394 人

③第 60 回「春風亭一之輔 独演会」

〈昼の部〉

春風亭朝七 「たらちね」

春風亭一之輔 「味噌蔵」

柳亭わさび 「MC タッパー」

春風亭一之輔 「子は鎧」

〈夜の部〉

春風亭与いち 「やかん」

春風亭一之輔 「百川」

三遊亭萬橘 「代書屋」

春風亭一之輔 「笠碁」

日時＝令和 2 年（2020 年）1 月 30 日（木）

昼の部＝午後 2 時開演 夜の部＝午後 7 時開演

会場＝紀伊國屋ホール

入場料＝3,500 円 入場者数＝昼の部 388 人 夜の部＝385 人

(4) 映画芸術劇場の開催

後援＝中央区文化・国際交流振興協会

第 177 回「映画芸術劇場」

上映作品＝シネマ歌舞伎「刺青奇偶」（平成 20 年 4 月歌舞伎座公演）

出演＝十八世中村勘三郎 坂東玉三郎 片岡仁左衛門

日時＝令和元年（2019 年）12 月 18 日（水）午前 11 時開映

会場＝東劇

入場者数=340人(入場無料)

(5) 都民半額観劇会の開催

「都民半額観劇会」第161回から第164回まで、年4回開催

主催=東京都、(公財)東京都歴史文化財団、(公社)日本演劇興行協会、
(公財)都民劇場の四者共催

第161回	参加劇場12劇場	応募枚数	46,011枚	提供枚数	7,777枚
第162回	11劇場	51,283枚	8,301枚		
第163回	11劇場	44,545枚	8,542枚		
第164回	9劇場	30,514枚	1,355枚		

※第164回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参加9劇場のうち7劇場が公演中止となり、5,451枚分を払い戻した。

2019(平成31)年度合計 応募枚数172,353枚 提供枚数 25,984枚
(第1回からの累計応募総数 5,939,882枚 // 1,200,447枚)

観劇希望者は葉書で劇場名、日時、枚数(2枚まで)を明記の上、都民劇場内都民半額観劇会事務局へ申し込む。抽選の上、当選者に通知及び振込用紙を送付し、代金入金確認後、入場券を郵送するシステム。当選者は正規入場料の半額の代金と所定の取扱手数料を納める。

<2> 青少年育成事業

(1) 第249回「子供歌舞伎教室」の開催

共催=東京都 協賛=松竹株式会社、(公社)日本俳優協会

演目=ご挨拶・解説

「棒しばり」 長唄囃子連中

出演=坂東亀蔵 中村萬太郎 尾上菊市郎

日時=令和元年(2019年)11月23日(祝・土) 午前9時開演

会場=歌舞伎座

入場者数=学校申込(21校)689人 個人申込(親と子)675人

その他81人

合計1,445人(入場無料)

(2) 「親と子の京劇鑑賞会2019」

演目=セミナー「京劇のミカタ」 講師=加藤徹氏(明治大学教授)

京劇「西遊記2019~旅のはじまり」

出演=上海京劇院

日時=令和元年(2019年)6月15日(土)

セミナー＝午前2時10分開講 午後3時30分開演

会場＝東京芸術劇場プレイハウス

入場者数＝156人（入場無料）

<3> 研究会事業

(1) 「四国こんぴら歌舞伎」観劇研究会

演目＝昼の部「義経千本桜／すし屋」 新作歌舞伎「心中月夜星野屋」

夜の部「傾城反魂香」「高坏」「芝浜革財布」

出演＝扇雀 勘九郎 七之助 中車 亀蔵 他

会場＝四国・金丸座

日程＝Aコース 平成31年（2019年）4月9日～11日

Bコース 平成31年（2019年）4月18日～20日

参加人数合計＝51名

<4> 主要劇場の入場券の斡旋、研究調査および定期刊行物の発行

- (1) 定期鑑賞会会員以外の人達に入場券の斡旋等の販売等を実施した。
- (2) 定期鑑賞会事業、特別公演事業の推進を図るため、アンケート調査を実施し機関紙「都民劇場」5月号、第791号で公表した。
- (3) 定期鑑賞会会員向け機関紙「都民劇場」を第790号から第801号まで12回発行。
定期鑑賞会音楽サークル会員用プログラム年8回発行。

2. 役員会等に関する事項（理事会、評議員会等）

〈1〉理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和元年6月6日 (2019年)	1.平成30年度計算書類・事業報告承認の件	可 決
	2.平成30年度定期提出書類の承認の件	可 決
	3.理事候補者の承認の件	可 決
	4.役員等の報酬及び費用に関する規程変更案、並びに、非常勤役員等退職慰労金支給規程案の承認の件	可 決
	5.委員会規程変更の件	可 決
	6.重要な職員任免の承認の件	可 決
	7.評議員会招集及び提出議案の件	可 決
令和2年3月18日 (2020年)	1.令和2年度（2020年度）事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについての承認	可 決
	2.令和2年度役員報酬の承認	可 決
	3.企画委員及び企画委員長の選任	可 決

〈2〉評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和元年6月25日 (2019年)	1.「平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認」の件	可 決
	2.理事の選任	可 決
	3.役員等の報酬及び費用に関する規程、並びに、非常勤役員等退職慰労金支給規程の承認の件	可 決

3. 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区 分	平成31年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	平成29年度 (2017年度)
経常収益	1,141,535,360	1,306,666,305	1,448,833,556
評価損益等調整前 当期経常増減額	△102,145,001	△55,729,788	△46,277,194
当期経常増減額	△128,406,001	1,442,672	△84,253,694
当期財産期末残高	850,531,566	979,007,567	977,521,075

4. 業務の適正を確保するための体制等

当法人では、公益財団法人への移行後の組織運営にあたり、以下の定款及び諸規程を整備し、これを役員及び従業員に説明したうえで、これに従った法人運営を行う。

1. 定款
2. 事務局規程
3. 委員会規程
4. 賛助会規程
5. 会員規程
6. 理事の職務権限規程
7. 役員等の報酬及び費用に関する規程
8. 非常勤役員等退職慰労金支給規程
9. 常勤役員退職慰労金規程
10. 寄附金等取扱規程
11. 経理規程
12. 資金運用規程
13. 情報公開規程
14. 個人情報管理規程
15. 印章取扱規程